

2022（令和4）年度 事業報告 概要

（自・2022年4月1日 ～ 至・2023年3月31日）

コロナ・パンデミックは3年を超え、いまだ収束の兆しささえ見えない。この間、社会生活はさまざまな課題に直面させられた。特に社会的弱者が置かれている状況は厳しく、その根源は社会的な構造から派生していると思われるが、当財団としては、社会福祉の実践現場でも既存の制度では対応できない事業への支援を考えてきた。

加えて、2022年初から、ロシアのウクライナへの軍事侵攻により、エネルギーや食糧資源も不足してきて、自国主義による負の影響もあらわれている。また、世界各地域では、災害による生活破壊、政治的不安定さがもたらす人権侵害など支援が必要な状況は多岐にわたっている。当財団も特にアジアに目を向けて社会福祉の担い手の育成と関連している事業への支援を開始しており、今後の支援の在り方も引き続き検討しなければならない。

財団の2022年度はコロナ禍の中での立案であり、その状況下での実施だったので一部縮小したものの全体的には、事業成果は認められるものであった。

平和であってこそ成り立つ社会福祉制度なので、潜在化しているニーズに目を向けて、積極的に支援できるように、次年度からは事業の取り組み方も多様な方法を取り入れるようにしていること考えている。

I、公益目的事業

A. 海外研修事業

コロナ感染症が続いているため本事業は今年(2022年度)も事業は行わなかった。

イ. 講座・講習開催事業

社会福祉の担い手のため、新しい知識、技術等の取得を支援することを目的に事業を計画した。特に個人では収集できない情報などを提供して将来の課題を探り、社会福祉の充実に寄与できるようにした。

事業内容

◆ 講演会

日 時： 2022年10月5日（水）
場 所： 東京YWCA カフマンホール
講 師： 上野千鶴子氏

タイトル： 「最期まで自宅で一人暮らす」ー

上野千鶴子さんに聞く、住み慣れた自宅で自分らしく最期まで生きる術ー

参加費： 無料

参加人数： 110名

高齢者にとって関心度の高いテーマを上野千鶴子氏よりわかりやすく楽しく聞いた。
在宅で最期を迎えるための心構えはできたが、具体的な準備について更に知りたい、
などの感想があり、再度の開催の希望があった。

◆ 研修セミナー

日時： 2022年11月16日（水）

場所： 愛恵ビル10A室

テーマ： パーソン・センタード・ケアについて学ぶ～認知症を持つ人への理解とコミュニケーション～

講師： 研修1「パーソン・センタード・ケアの理念」

田邊薫氏 和光病院医療福祉相談室室長・NPO法人パーソン・
センタード・ケアを考える会

研修2「父・長谷川和夫との日々とパーソン・センタード・ケア」

南高まり氏 立川市役所デイサービス勤務・
日本ユマニチュード学会認証審査委員

参加費： 無料

参加人数： 20名

研修1では認知症ケアの最前線でご活躍の田邊薫氏から具体的な事例をもとに学ぶ機会が
与えられ、研修2では娘として認知症になった父、故長谷川和夫医師（認知症の権威）を見
つめ、支えた日々を南高まり氏より聞くことができた。

◆ 音訳講習会

日時： 2022年9月13日～11月25日 全9回

場所： 東京YWCAカフマンホール

テーマ： 読むことが不自由な方々のために、文字などを音声化する「音訳」の方法を
学ぶ講座

講師： 高橋久美子氏

参加費： 3000円

参加人数： 15名

◆ 音声デイジー製作講習会（基礎編）

日時： 2022年10月19、20、21日 全3回

場所： 愛恵ビル10A室

テーマ： パソコンを活用し、録音と文字のデータを合わせた情報システムにより、書
籍での読書が困難な障害を持つ方々への図書作りを学ぶ講座

講 師： 森田聡子氏（特定非営利活動法人 DAISY TOKYO 理事長）、他
参 加 費： 3500円
参加人数： 8名

◆ マルチメディアデイジー製作講習会

日 時： 2022年12月14、15日 全2回
場 所： 愛恵ビル10A室
テ ー マ： 発達障がいや知的障がいのある方、加齢などにより文字が見えにくい方など
通常の紙の書籍での読書に困難のある方々に対し、音声と文字、画像を同時
に再生できるデジタル録音図書作りを学ぶ講座
講 師： 森田聡子氏（特定非営利活動法人 DAISY TOKYO 理事長）、他
参 加 費： 3000円
参加人数： 7名

◆ 施設見学会

日 時： 2022年12月8日（木）
見学施設： 発達障害者就労支援センターゆに（UNI）
目 的： 障害福祉サービス従業者が、優れた実践をしている施設や事業所を見学する
ことで、専門職としての在り方とサービスの質のレベルアップを図ること。
また、他の法人・事業所との情報交換の機会とすること。
参 加 費： 無料
参加人数： 8名
見学会の目的： 障害福祉サービス従業者が、優れた実践をしている施設や事業所を見学
することで、専門職としての在り方とサービスの質のレベルアップを図
ること。また、他の法人・事業所との情報交換の機会とすること。

知的障害を伴わない発達障害に特化した就労支援事業所は珍しく、その取り組みについて
実際現場を見て、直接携わる施設長のお話を聞いたことは、同業者である参加者にとって
貴重な学びとなった。

◆ 手話教室

2022年度は「NPO法人紡希の杜」に業務を委託した。

講座講習企画委員 田中弘、新田和子、上田健、伊藤美智子

委員会開催 2022年4月25日、7月13日、9月8日、2023年1月12日

ウ. 愛恵エッセイ賞（懸賞論文）募集事業

東京 YMCA との共催事業である。一般社会の福祉に対する意識やさまざまな体験などを募集し
福祉意識の啓発事業として実施している。これまで応募者の偏りなどが見られたので、2022年

度は社会事情を反映させ外国籍を持つ人たちにも投稿を呼びかけた。この事業は東京 YMCA に委託しているが、今年から、東京 YMCA のホームページのサイトから投稿する方法を取った。その結果審査作業の改善を図ることができた。

公募期間： 2022 年 9 月 15 日～2022 年 11 月 11 日

応募数： 学生 79 名、専門職 18 名、一般 91 名、外国籍 8 名 計 196 名

選考委員： 八尾勝、河合裕志、西崎攻司、今野武美

委員会： 2022 年 6 月 7 日、12 月 9 日

選考会： 2023 年 1 月 20 日

表彰式： 2023 年 3 月 4 日 愛恵ビル会議室にて Zoom とのハイブリッドで実施

受賞作品集配布先： 400 部印刷、応募者、愛恵財団理事、監事、評議員、公益財団法人東京 YMCA、その他

愛恵エッセイ賞(懸賞論文)表彰結果

学生の部 : 最優秀賞 1 名 優秀賞 3 名 佳作賞 3 名 奨励賞 1 名

一般の部 : 最優秀賞 1 名 優秀賞 3 名 佳作賞 3 名

外国籍の部 : 最優秀賞 1 名 優秀賞 1 名 佳作賞 2 名

エ. 社会福祉育成活動推進事業

社会福祉施設等の事業推進のための従来の一般助成に加え、特別な分野にも拡大した。海外への助成をその枠の中に入れ、期間を限定して特別助成として実施した。

1. 一般助成

本事業の公募に関して、財団ホームページに直接アクセスすることにより申請を受け、必要な要求資料類も添付依頼し、審査時にも閲覧できるようにして、資料扱いの煩雑さを改善した。本事業への期待は大きく応募も社会福祉施設等多岐にわたっている。

公募期間： 2022 年 9 月 15 日～11 月 15 日

応募件数： 154 件

採択件数： 122 件（社福 22、特非 58、一社 22、任意 18、他 2）
助成先はホームページに掲載

助成総額： 22,083,657 円

選考会： 2022 年 12 月 15 日

選考委員： 高山和久、坂岡隆司、高原敏夫、西川ハンナ（12 月 5 日辞任）

委員会開催： 2022 年 5 月 26 日 8 月 24 日

2. 特別助成

2-1

【子どもアドボカシーシステムに関する拠点形成と国際共同支援体制の構築】

2022年度の事業として採用したが、申請団体より国及び鳥取県の支援事業が得られることになり辞退の申し出があった。

2-2

①【カンボジア専門ソーシャルワーカー協会への支援】

カンボジア専門ソーシャルワーカー協会（Association of Professional Social Workers of Cambodia-APSWC と略）は2014年にカンボジアでソーシャルワーク専門教育を受けたソーシャルワーカーの団体として設立、政府に登録されている団体である。会員は現在21人。2021年度より当財団の支援を受け、協会の組織体制の整備（専任者2名による事務局管理と組織運営）、会員やソーシャルワーカーの人材育成事業、ソーシャルワーカーの資格化に関する政府への提言などを行ってきた。

2022年度行った事業は以下のとおりである。

- ・人材育成事業（研修をユニセフなど政府研究機関と協働で提供及び調査研究）
- ・ネットワーク（国内外、ASEAN とのネットワーク、国際ソーシャルワーカー連盟（IFSW）加盟をめざす）の構築
- ・ソーシャルワークの社会的認知とソーシャルワーカーの地位向上（ソーシャルワークデーイベントに参加）
- ・専門職としてのソーシャルワーカー資格化の方向づけ（政府と協働で登録制度検討）
- ・専門職として倫理綱領の順守（行動規範、規約制定）
- ・組織強化のための活動（会員拡大の努力）

関連視察訪問

- ・2023年1月21日から28日まで、当委員会の委員と理事長、事務職員の6名によりカンボジアへ視察訪問を行い、現地のAPSWCの事務所、政府の担当省などへの訪問、ワークショップへの参加、現地のソーシャルワーカーとの懇談などを通して、本事業の評価と今後の提言を行った。（費用2,876,840円）
- ・カンボジアの視察訪問に関する報告書を作成し、関係者へ配布した。

資金補填

本事業の事業費は予算300万円を見込んでいたが、円安のあおりを受け現地の手取りが減少、予定した事業を行うための資金補填の申し出があったので6700ドル（871,000円）を追加支給した。

②【バングラデシュのスクールソーシャルワーク事業への支援】

今年度（2022年度）より3年間、バングラデシュのスクールソーシャルワーク介入プロジェクト（代表Habibur Rahman）へ支援している。プロジェクトのリーダーが主に大学院生・

修了生をスクールソーシャルワーカーとして訓練する。次に、訓練を受けたスクールソーシャルワーカーが、ダッカ市内の中高校で、生徒の健全育成をめざし、生徒・保護者・教員の3者を繋ぐソーシャルワークを展開する、というパイロットプロジェクトである。

1年目の2022年度は、以下の事業を行った。

- 10校の中高校で教師、保護者、生徒と会議開催
 - 4段階の訓練をスクールソーシャルワーカーに実施
 - 教師、保護者、生徒のベースライン（初期アセスメント実施）
 - 地域ごとのレベル初期アセスメントとワークショップによる情報共有
 - ライフスキルと生徒間による支援訓練の実施
 - ワorkshopを通じてプロジェクトの三角形の支援モデルの概念を共有
 - 市民レベルの精神保健とソーシャルワーク介入（カウンセリング含む）の力量向上を目指した地域レベルの協働と組織化を目指す対話の促進
- カンボジア・バングラデシュの事業の推進状況を把握し伝達するために、オンラインシステムを活用した方式を構築するための技術を取得した。

委員会開催日 2022年4月29日、7月16日、8月11日、10月10日、11月23日、
12月27日、2月18日

委員 平田美智子（長）、方こすも、野田有紀、立脇恵子、木村真理子、高原敏夫

3. ペイン記念奨学金給付

社会福祉界のリーダーとなるべく人材の育成を目的として給付型奨学金である。

対象： 指定19大学 福祉系大学院生

公募期間： 2022年4月1日～5月15日

選考： 1次（書類審査） 2次（面接）

応募人数： 6名 決定人数： 4名

給付人数： 7名（内2年目3名）

委員会： 4月8日

選考会： 6月28日（面接）、7月1日（面接）、

成果報告： 2023年2月14日、3月7日

選考委員： 李善恵、柴田謙治、都築光一、河合裕志、遠藤久江

次年度の奨学金額について： 「年間授業料の補助 年間100万円を限度とする」に加えて研究補助金として10万円を支給することとした。

4. 協賛助成

地域福祉施設協議会

第24回 全国地域福祉施設研修会 2月18日（土）～19日（日）

東京墨田区 ファッション・センター (300千円)

参加者 250人 主にキリスト教関係地域福祉施設間の連携研修会

II、収益事業

(収1) 施設貸与事業

「愛恵ビル」は財団公益事業推進の拠点場所として使用されるほかは、所要スペースを一般に貸与している。

2022年度の 事業収入 合計 7,261千円

- ・テナント ESS 株式会社 3室(10B、20B、40A)
良公監査法人 1室(20A) NPO 法人紡希の杜 1室(30B) 計5室
- ・時間貸しユーザーについては事務局内にユーザー名、日時、目的等を公開している。
- ・収益の50%超(全額)を公益事業に繰り入れる。

III、法人管理

1. 評議員会・理事会の開催

(評議員会の開催)

開催年月日	審議及び決議事項
定時評議員会 2022年6月2日	報告事項 2021年度 事業報告について 議決事項 1) 2021年度 収支決算(案)承認の件 2) 次期理事・監事選任の件
臨時評議員会 2023年3月23日	1) 2023年度 事業計画案承認の件 2) 2023年度 収支予算案 承認の件

(理事会の開催)

開催年月日	審議及び決議事項
1回定時理事会 2022年5月19日	1) 2021年度事業報告案承認の件 2) 2021年度収支決算案承認の件 監事監査報告の件 3) 次期役員候補者の確定の件 4) 契約職員就業規則改訂の件 5) 2022年度定時評議員会開催に関する件 その他 事務局執行体制について
第1回臨時理事会 6月2日	1) 代表理事選出の件 2) 次期事務局執行体制の件 3) 契約職員就業規則制定の件

第2回臨時理事会 7月21日	1) 就業規則改訂案の件 2) 就業規則改訂に伴う人事の件 3) 委員会委員変更及び追加の件
第3回臨時理事会 10月20日	1) 公益目的事業の再編成について 2) カンボジア訪問の件 3) 財産運用委員会の委員を新たに選任する件 4) 正職員募集の件 協議事項 次期役員改選に伴う定年制、再任回数などの制限設定について
第4回臨時理事会 2023年1月19日	1) 2023年度の事業計画案の件 2) 2023年度収支予算案作成の件 3) 2022年度臨時評議員会開催の件 4) 2023年度定時評議員会開催の件 5) 委員会委員の件
第2回定時理事会 3月9日	1) 2023年度事業計画(案)承認の件 2) 2023年度収支予算(案)承認の件 3) ペイン記念奨学金規程改定の件 4) 国際支援企画委員会バンングラディッシュ視察旅行の件 5) 2022年度臨時評議員会開催の件

2. 役員

2023年3月31日現在の役員： 理事8人 監事2人

代表理事： 遠藤久江（非常勤）

業務執行理事： 杉浦孝夫（常勤）

理事(非常勤)： 河合裕志、木村真理子、昆百合子、田中弘、高原敏夫、西崎攻司

監事（非常勤）： 廣田伊志子、西田俊二

任期：2022年6月2日～2024年度 定時評議員会

評議員

2023年3月31日現在の評議員（非常勤） 8人

上田健、内田望、岸川洋治、坂本正路、助川征雄、塚越敏夫、新田和子、野原健治

任期：2022年6月2日～2026年度 定時評議員会

3. 広報活動

愛恵だより第10号（2022年7月）、第11号発行（2023年1月）

ホームページの刷新（2022年11月25日）

編集委員：西崎攻司、田中 弘

4. 事務局

常務理事（事務局長） 杉浦孝夫

職員 2人

パート 3人

5. 事務局会議

2022年4月13日、27日、5月11日、6月22日、7月14日、8月10日、9月14日
10月12日、11月9日、12月14日、2023年1月11日、2月8日、3月8日

6. 届出、変更、登記

内閣府 3月24日 2022年度事業計画書

6月28日 2021年度事業報告書、決算報告書

東京法務局 7月5日 理事8人 監事2人 全員再任登記（2年に1回）

7. 財産運用

財団の運営は主に基本財産運用益収入によっている。

2022年度運用収入 7,500万円 前年比 1,500万円減。

基本財産（投資有価証券）の時価評価額 237,400万円、前年比 27,700万円減

財産運用委員会

委員会 2023年2月14日、2月21日

委員 田中弘、後藤幹雄（2023年1月19日より）

8. 総務事項

就業規則の更新制定

機械警備システム導入

プロジェクタースクリーン設置（10A室）ZOOM環境の整備

会計システムの導入

以上